

# 物価負担増年28万円

## 22年度以降の値上がりで

### 民間研究機関推計

物価高が家計の重石にな

る状況が続いています。民

間シンクタンクのみずほリ

サーチ&テクノロジーズは

14日、2022年度と24年

度の3年間の物価高騰によ

り、21年度と比べた24年度

の年間家計負担が1世帯を食料、エネルギー、その他に分類して物価変動を推計しました。3年間の物価高騰による

増えるという試算を公表し、計しました。その結果、平均的な世帯負担増の額は家計の年収に

（2人以上）当たり28万円、他に分類して物価変動を推計しました。3年間の物価高騰による

合消費者物価指数について、23年度は前年度比2.4年度は7万8275円の

9万4852円の負担増、00万円未満の世帯では18

8%上昇、24年度は同2.4年度は7万8275円の

2%上昇すると予測。家計に22年度の物価高騰による

で購入する商品・サービス負担増10万7625円を加

す。